大雨による災害

近年は雨の降り方が変化し、より激しくなってきていることから、これまで水害がなかった場所でも浸水のおそれがあります。過去の経験にとらわれず、迷ったときは早めに避難するなど、積極的に命を守る判断が大切です。

氾濫の種類

外水氾濫（洪水）
- 川の堤防が壊れたり、堤防を越えて水が溢れたりすることで発生します。
- 雨が降っていなくても、川の上流の天候によって発生する可能性があります。
- 天気予報や水位の変化を把握することで、ある程度の予測が可能です。

内水氾濫
- 降った雨が水路や下水道で排水しきれずに発生します。
- 周囲よりも低い土地に水が溜まる傾向があります。
- 短時間の局地的大雨によって発生する可能性があり、予測が困難です。

家屋倒壊等氾濫想定区域

家屋の倒壊や河岸の浸食など、深刻な事態が発生する可能性がある区域です。

氾濫流

堤防の決壊や氾濫流により木造家屋の倒壊のおそれがあります。

河岸侵食

河岸が削られて家屋が崩落するおそれがあります。

浸水継続時間の長い地域

浸水継続時間とは、浸水の深さが５０cm以上になってから、５０cmを下回るまでの時間を示したものです。

浸水継続時間の長い区域にお住いの方は、早めの立退き避難を心がけるほか、自宅などその場に留まった場合の問題に備えましょう。

（浸水継続時間は、重ねるハザードマップで確認できます。）

土砂災害

前兆が見られたら早めの避難！！

避難場所への避難が困難なときは、近くの頑丈な建物の２階以上や、家の中でより安全な場所（がけから離れた部屋や２階など）に移動しましょう。

がけ崩れ

地中にしみこんだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって斜面が崩れ落ちる。

前兆現象
- ●がけから水が湧き出す。
- ●石垣が盛り上がったり、がけに亀裂が入る。
- ●斜面から石がパラパラ落ちてくる。

土石流

山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって、一気に下流に押し流される。

前兆現象
- ●立木が裂ける音がしたり、山鳴りがする。
- ●雨が降り続いているのに、川の水位が下がる。
- ●急に川の水が濁り、流木が混ざっている。

地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する。

前兆現象
- ●地面に割れ目や、段差ができる。
- ●樹木が傾いている。
- ●急や井戸の水が濁ったり減ったりする。

避難情報

避難のタイミング

どのタイミングで避難を開始するかは非常に重要な判断です。大雨警報等の気象情報、河川の水位情報、市の発令する避難情報等を継続的に集め、自らの判断で避難を開始してください。

特に、避難に時間のかかる方（ 高齢者や障がいのある方、妊婦や乳幼児など）は時間に余裕をもって避難を始めてください。

高 ↑ 危険度 ↓ 低

河川氾濫	大　雨	土砂災害
レベル５ 氾濫特別警報	レベル５ 大雨特別警報	レベル５ 土砂災害特別警報
レベル４までに危険な場所から全員避難		
レベル４ 氾濫危険警報	レベル４ 大雨危険警報	レベル４ 土砂災害危険警報
レベル３ 氾濫警報	レベル３ 大雨警報	レベル３ 土砂災害警報
レベル２ 氾濫注意報	レベル２ 大雨注意報	レベル２ 土砂災害注意報
早期注意情報		

避難情報が出ていなくても、危険だと感じたら、自らの判断で避難しましょう！

避難判断マニュアル

避難情報発令のタイミングをまとめた「岡崎市避難情報判断マニュアル」を作成しています。日頃からマニュアルを参考にして、早めの避難判断ができるよう備えてください。

対象とする自然災害	避難情報の発令単位
外水氾濫（洪水）・土砂災害	学区（小学校区）

https://okazaki-bousai-portal.transmod.jp/higoronosonae/shiru/hinan/222.html

避難情報の発令を判断する基準水位

避難情報の種類 / 基準水位		河川名／基準観測所							
		矢作川	乙川			広田川		伊賀川	鹿乗川
		岩津	茅原沢	大平	殿橋	永良	井上橋	伊賀川	筒針
緊急安全確保 / 氾濫発生水位（レベル５）		10.31	5.60	4.90	0	—	0	26.97	12.10
避難指示 / 氾濫危険水位（レベル４）	の目安	8.50	4.00	3.70	0	—	-1.21	24.70	11.50
高齢者等避難 / 避難判断水位（レベル３）	の目安	7.80	2.90	3.10	—	4.60	—	24.20	10.95

単位(m)

※伊賀川、鹿乗川は「東京湾中等潮位」で表記しています。
※河川管理者により基準となる水位が設定されていない場合は、その他の水位情報を参考に設定しています。

情報の入手方法

わたしたちに届く情報

Yahoo! 防災速報

地震や豪雨、自治体からの緊急情報などを携帯電話にプッシュ型配信でお知らせするアプリです。親戚などが住んでいる地域の防災情報や利用者が今いる場所（現在地）の防災情報も受け取ることができます。

App Store　Google Play

岡崎市の公式情報や緊急情報を配信しています。

岡崎市公式ＬＩＮＥ　LINE

Facebook　Facebook

Ｘ（旧 Twitter）　X（旧Twitter）

おかざき防災緊急メール「防災くん」

岡崎市が提供する全ての防災情報をメールで受け取ることができます。Yahoo! 防災速報などで受け取ることができる緊急情報のほか、岡崎市内に設置されている「路上浸水計」が浸水を検知した情報を提供しています。

電話・ファックスサービス

携帯電話をお持ちでない方、メール等の確認が困難な方を対象としたサービスです。申請書を防災課（市役所東庁舎２階）へ持参するかFAX（0564-23-6618）でご提出ください。

エリア・緊急速報メール

携帯電話事業者が提供する地震や豪雨、自治体からの緊急情報などを受け取れるサービスです。携帯電話基地局エリアの範囲内に滞在する対応携帯電話に一斉に配信されます。

わたしたちが集める情報

重ねるハザードマップ
国土交通省が提供する災害リスクのWeb地図です。

岡崎市防災ポータル
岡崎市の防災総合サイトです。

気象庁キキクル
浸水・洪水・土砂などの災害危険度分布をリアルタイムで確認できます。

愛知県川の防災情報
愛知県内のレーダー雨量、河川の発表情報等が確認できるサイトです。

国土交通省川の防災情報
河川の状況について最新の情報を知ることができるサイトです。

リアルタイムレーダー　雨量データの速報値とレーダー情報を地図上に重ねあわせてリアルタイムで表示するようにした情報です。最大 24 時間前からの動画もご覧いただけます。

タイプ別おすすめ

重要な防災情報を聞き逃したくない方 現在地や岡崎市以外の防災情報も知りたい方	→ Yahoo! 防災速報
日ごろ見ているSNSで防災情報も受けたい方	→ 岡崎市公式SNS
路上浸水計の通知を受けたい方	→ おかざき防災緊急メール「防災くん」
電話の音声で通知を受けたい方 ファックスで通知を受けたい方	→ 電話・ファックスサービス

事前の予測が困難な内水氾濫浸水被害に備え、路上浸水計を活用しましょう。

市内15か所の路上浸水計が浸水を検知したら、警戒サイレンやおかざき防災緊急メール「防災くん」でお知らせします。浸水の段階に応じて、財産を守るための行動や避難をしましょう。

お知らせ方法	冠水検知	第１段階	第２段階
おかざき防災緊急メール「防災くん」	○	○	○
警報サイレン	×	○	○

●防災ポータル　防災学習/日頃の備え→岡崎市からの情報配信→おかざき防災緊急メール等の情報を確認ください。

持ち出し品の準備と備蓄品

外出時に災害にあった場合のために、最小限のものを「常時携行品」として持ち歩き、「非常持ち出し品」と「備蓄品」を下記チェックリストを参考に準備しておきましょう。

常時携行品（持ち歩き防災用品）

外出時に災害が起きた場合でも困らないように、１日でも欠かせないものは持ち歩こう！

●自分にとっての【重要度・持ち歩きやすさ】を基準に選びましょう

- □ マスク
- □ モバイルバッテリー
- □ 小型ライト
- □ あめ、チョコレート
- □ ビニール袋
- □ ばんそうこう
- □ 持病の薬（持ち歩けるもの）
- □ ふえ・ホイッスル（閉じ込められた時用）

非常持ち出し品

必要最小限のものを用意し、避難のときにすぐ持ち出せるように準備しよう！

●自分に必要なものを選び、持って行動できる量にする ※1人分ずつ用意

- □ 飲料水
- □ 非常食（未調理で食べられるもの）
- □ 懐中電灯・ヘッドライト
- □ 携帯ラジオ
- □ 防災ずきん・ヘルメット
- □ 貴重品（通帳や保険証の写し）
- □ 着替え（体温調節できるもの）
- □ 持病の薬（お薬手帳写し含む）
- □ 雨具（レインコートなど）
- □ タオル類
- □ 軍手
- □ モバイルバッテリー
- □ 救急セット
- □ 筆記用具
- □ 予備の乾電池
- □ 携帯トイレ

感染症対策用品
- □ 使い捨てマスク
- □ 体温計
- □ 除菌シート

備蓄品（在宅避難の準備品）

在宅避難の準備の基本！　最低3日分、できれば１週間分用意しよう！

●飲料水・食料品

- □ 飲料水（1人1日3ℓ× 家族の人数）
- □ 食料品（缶詰、レトルト食品、フリーズドライ食品など）

ローリングストック法で簡単備蓄！！

消費期限に合わせて定期的に古いものから消費し、消費した分を補充するという循環型の備蓄方法です。

●日用品

- □ トイレットペーパー
- □ ウェットティッシュ
- □ トイレバック
- □ ポリ袋
- □ 水のいらないシャンプー
- □ 歯磨きセット
- □ タオル類
- □ 生理用品
- □ 救急セット
- □ 常備薬
- □ カイロ
- □ ラップ
- □ カセットコンロ
- □ カセットボンベ
- □ LED ランタン

- □ 携帯ラジオ
- □ モバイルバッテリー
- □ 乾電池

特に重要

●乳幼児のいる家庭の備え
- □ 紙おむつ
- □ おしりふき
- □ おやつ
- □ 哺乳瓶
- □ 哺乳瓶消毒グッズ
- □ 離乳食
- □ 粉ミルク、液体ミルク

●要介護者のいる家庭の備え
- □ 介護食
- □ 大人用おむつ
- □ 補助具などの予備

●ペットのいる家庭の備え
- □ ケージ
- □ ペットフード
- □ ペット用トイレシート

災害時、電気・ガスや水道が止まり、トイレの水を流せなくなるおそれがあります。そうした場合でも、安心して自宅で過ごせるよう、次の物を備えておきましょう。

水
1人1日分、9ℓ が目安です。家族分準備しましょう。

モバイルバッテリー
停電が起きてもスマホ等を充電することができます。

カセットコンロ
電気やガスが止まっても温かい調理ができます。

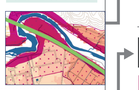
トイレバック
1人1日5回×3日分の15個が目安です。

水害・土砂災害時の判定フロー

「表面のマップ」で自宅周辺の表示（色や模様）を確認しましょう

水害

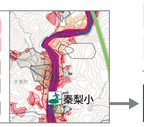
ステップ1　家屋倒壊　着色なし → 屋内安全確保（垂直避難）が可能



ステップ2　浸水深

土砂災害

ステップ3　土砂災害　急傾斜　土石流



自宅周辺は何色？

河岸侵食　氾濫流　河川　コンクリート造でも倒れる　木造は壊れる

自宅の構造は？
- コンクリート造 → ステップ2 へ
- 木造家屋 → 自宅以外の安全な場所へ 早期立退き避難

自宅周辺は何色？　自宅は何階建て？（集合住宅の方は、住んでいる階数）

20.0m以上		
10.0-20.0m未満		
5.0-10.0m未満	（4階部分まで浸水のおそれ）	5階以上 → 自宅以外の安全な場所へ 早期立退き避難
		4階以下 → 屋内安全確保（垂直避難）が可能
3.0-5.0m未満	（2階部分まで水没のおそれ）	3階以上 → 自宅以外の安全な場所へ 早期立退き避難
		2階以下 → 屋内安全確保（垂直避難）が可能
0.5-3.0m未満	（1階部分まで水没のおそれ）	2階以上 → 自宅以外の安全な場所へ 早期立退き避難
		1階 → 屋内安全確保（垂直避難）が可能
0.5m未満	（床下浸水のおそれ）	屋内安全確保（垂直避難）が可能

自宅周辺は何色？　急傾斜　土石流　地すべり → 自宅以外の安全な場所へ 早期立退き避難

自宅以外の安全な場所へ 早期立退き避難

洪水や土砂災害が発生した場合は、大変危険な状況になることが想定されます。

平常時から避難先と避難経路を決めておき、市から避難情報が発令された場合は早期に別の安全な場所に立ち退き避難を行いましょう。

避難情報が発令されなくても、自ら早めに避難行動を開始することも重要です。

事前に最低限必要なものを準備しておきましょう。（▶持ち出し品の準備と備蓄品）参照）

屋内安全確保（垂直避難）が可能

自宅に留まり、想定される浸水深より高い居室で、安全を確保することができます。

事前に最低限必要なものを準備しておきましょう。（▶持ち出し品の準備と備蓄品）参照）

避難行動計画（マイ・タイムライン）

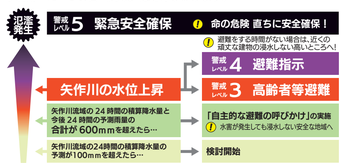
■ チェック、▭ 記入しましょう。

◇災害時に、あなたと大切な人の命を守れるのは「あなたの判断と行動」です！

「マイタイムライン」は、大雨や台風などの風水害にそなえて、一人ひとりの家族や生活の状況に合わせた避難行動、つまり「自分の逃げ方」を考えておくものです。「いつ」「誰が」「何をするのか」をスケジュールにまとめておくことで、いざという時にあわてずに行動をとる助けになります。

◇「早めの判断」が、あなた自身やあなたの家族の命を守ります！

矢作川の氾濫のおそれがあるときは、矢作川の水位が低い状態でも、予測雨量に基づき自主的な避難を呼びかけます。



◇避難のタイミングは、「最悪の事態を想定」して考えることが大切です

市の人口の半数以上（約20万人）の方が浸水が想定される地域（浸水深0.5m以上）に居住しています。

- ●避難指示等の発令をきっかけに一斉避難しようとすると…
  →渋滞や混乱が発生し、逃げ遅れて被災する可能性があります。
- ●矢作川は遠いからが大丈夫と思っていると…
  →広い範囲で深く激しい流れに襲われる可能性があります。

いつ避難する？ いつ何をする？

行動の目安：避難開始前までに何をするかチェックしながら考えましょう。
避難開始のタイミング：自分に適した避難のタイミング、避難先を決めましょう。

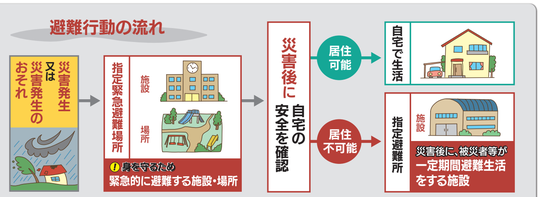
警戒レベル	大雨・台風の1～3日前 1	2	3	4	5
行政から出る情報		自主的な避難の呼びかけ	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
警戒レベル相当の防災気象情報	早期注意情報（警報級の可能性）	氾濫注意報 大雨注意報、土砂災害注意報	氾濫警報 大雨警報、土砂災害警報	氾濫危険警報 大雨危険警報、土砂災害危険警報	氾濫特別警報 大雨特別警報、土砂災害特別警報
行動の目安	□ 自主的に避難する人は避難の準備 □ 気象情報・避難情報を確認 □ 必要な物の買い出し □ 家財等の２階への移動開始 □ 家の周り点検・補強 □ 鉢植や物干しなど飛ばされそうな物の片付け □ 窓の施錠の確認 □ 携帯電話の充電 □ 非常持ち出し品・備蓄品を確認 □ 家族の今後の予定や居場所を確認	□ 避難に時間のかかる人は避難の準備 □ 防災マップで浸水想定区域と避難経路を確認 □ 防災気象情報を確認 □ 避難所の開設状況の確認 □ 避難手段、避難先を確認	□ 避難の準備 □ 家族の所在確認 □ 今後の気象状況を確認 □ 川の水位を確認 □ 自宅が「浸水想定区域」のエリア内にある場合 □ 避難に時間を要する方（高齢者、要配慮者など） □「警報」の発令！ 避難に時間を要する高齢者、要配慮者は危険な場所から避難！ □ 避難開始!!	□「危険警報」の発令! 危険な場所から 全員避難! □ 避難開始!! □ 家族や助けてくれる人に避難した事を連絡する	「特別警報」の発令！ 命の危険!! 直ちに安全確保 命を守る最善の行動をとる 屋内の少しでも高い場所へ避難

□ 自宅周辺の災害リスクを把握し避難行動を開始！

避難情報の発令対象学区

避難先　最寄りの避難場所（浸水しない安全な場所）

避難行動の流れ



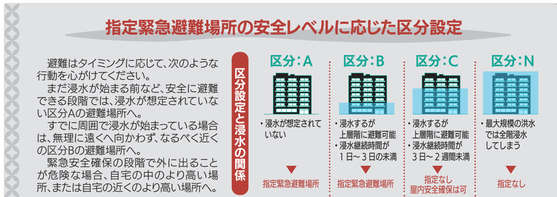
指定緊急避難場所の安全レベルに応じた区分設定

避難はタイミングに応じて、次のような行動をお願いします。

まだ浸水が始まる前など、安全に避難できる段階では、浸水が想定されていない区分Aの避難場所へ。

すでに周囲で浸水が始まっている場合は、無理に遠くへ向かわず、なるべく近くの区分Bの避難場所へ。

緊急安全確保の段階で外に出ることが危険な場合、自宅の中のより高い場所、または自宅の近くのより高い場所へ。



早期避難の重要性

「逃げ遅れ」で被害が拡大

避難情報が出ていなくても、危険だと感じたら、自らの判断で避難しましょう！

過去の大規模災害において「被害を拡大させた要因のひとつ」として指摘されるのが**「逃げ遅れ」**です。

風雨が強まると、避難する際にも危険な状況になりますので、その前に避難しましょう。

早期避難であれば、移動手段の選択肢が増え避難に余裕が生まれます。

特に！「自分のいる場所は大丈夫」、「周りが避難していなかったから」など非常時では心理的要因が作用するので注意しましょう！

避難しても被害がないこともありますが、そのときは「何事もなくて良かった。」と無事を確認しあいましょう。避難せず被害にあう事態だけは避けられます。油断や過信は禁物です。命を守るための行動をしましょう。

避難経路の注意点

危険箇所を避ける！

◇河川や用水路のそば、ため池の近く、土砂災害の危険のある場所

◇アンダーパスや地下道路（特に日ごろ冠水する場所）

事前の経路確認と早めの避難

実際に避難経路を歩き、安全で避難しやすい経路と所要時間を確認しましょう。

実際に避難する際は、できるだけ浸水が始まる前に余裕をもって避難しましょう。

避難は原則徒歩で!!

車での避難は緊急車両の通行の妨げや、交通渋滞をまねき、浸水すると動けなくなります。ただし、避難情報が出る前の早期の避難は、車の使用も有効です。

車で避難する場合の注意
- ◇高齢者や障がいのある方、妊婦や乳幼児のいる家庭などは、特に早期に移動する。
- ◇アンダーパスなど地面より低い場所を走らない。